

## 九州・沖縄ブロック原水協学校(1/20~22)長崎から14名の代表参加、協力に感謝。

米軍、日本政府、司法にも怒りが湧く中での沖縄開催の原水協学校、「今行かんば」と意気も高く、参加者は長崎代表14名でした。民医連1名、新婦人7名、南部地区2名、平和委員会1名、県原水協1名、市従組2名で11名が女性でした。20代の若い人も一人参加。全体で75名の参加です。

20日午後 那覇空港よりバスで辺野古キャンプシュワブゲート前へ。車中、沖縄の歴史や戦のことを学び、ゲート前テントではやんばる統一連の瀬長和男さんの辺野古のたたかいについての現状と展望を聞き、九州各県代表が激励のエールの交換。辺野古の海をめぐる、

21日は嘉手納基地・普天間基地、沖縄国際大学へ「墜落現場、嘉数高台公園等巡り、午後は豊見城社協会館での学習会、『核兵器廃絶をめぐる国際情勢と「ヒバクシャ国際署名」』と「最高裁判決後の沖縄のたたかいと展望」

22日は午前中「不屈館」でTBS製作の「米軍が最も恐れた男」～あなたはカメジロウを知っていますか?～のDVDを鑑賞後、内村館長の講演。午後は対馬丸記念館見学。大変タイトな行程でした。



参加者からは「連帯の意思を表明し、たたかいの励ましにと参加したが、沖縄戦や沖縄の現場や政治の舞台での「ぬちどう宝」精神で体をはったたたかい、非暴力・合法的な活動を学び、逆に元気をもらった、明日からまた頑張ろうと思った。」また、「被爆地長崎が果たす特別な役割をもつ、核兵器禁止・廃絶への運動強化は歴史的にもよく理解できた。ヒバクシャ国際署名をがんばり、日本政府へ圧力をかけることが大事だ。」等の感想が寄せられました。

4人に一人が亡くなった沖縄戦の犠牲の上に、戦後の祖国復帰、基地反対運動を非暴力、民主主義の力で不屈に戦ってきた歴史。

もう一つは核兵器の非人道性が世界で問われ、史上初めて核兵器を禁止する条約を議論する会議が国連で開催される2017年。1946年、国連で国際政治の目標として核兵器の廃絶を掲げ、71年目にして具体的な実現の道が国連で論議される歴史的な年。

民主主義・平和の運動が大きく前進するよう、元気をもらった2泊3日の原水協学校、意義ある企画になりました。

沖縄連帯募金20万円を超える協力、ありがとうございました。広く呼びかける時間がなかったが、20万円を超える募金が個人・団体から寄せられ、沖縄のたたかいに学び、「頑張っている」と「やんばる統一連」の吉田務代表へ渡すことが出来ました。

DVD49分 沖縄では視聴者の声で2回放送 オール沖縄のたたかいが良く理解できる、視聴希望の方は連絡ください。



TBS製作  
**米軍が最も恐れた男**  
～あなたはカメジロウを知っていますか?～  
放送 平成28年8月21日

## 「ヒバクシャ国際署名」をすすめる長崎県民の会の動きから

### 被爆者の訴えに「核兵器のない世界へ」共同をつくる動きが

昨年4月に提起された署名、「ヒバクシャの訴え」は広く心に響いて、自治体も含め大きな動きをつくっています。燎原の火のように日本で世界で「ヒバクシャ国際署名」を草の根で行動を広げ「核兵器禁止条約実現へ」後押ししましょう。

県民の会として、自治体首長へ賛同署名の要請を被爆者を先頭に事務局が手分けして、訪問して懇談しています。2月中に全自治体を訪問し、団体・個人の賛同者も募り、3月の国連での「核兵器禁止条約交渉会議」に合わせ呼びかけたいと思っています。

訪問した自治体では「誰も反対できないもので、世界に広げる活動だ。機は熟している。原爆はいかんという一致点で運動することが大事で、やれることは協力したい。」とほとんどの自治体が賛同を表明し、同時にホームページや広報で住民にむけて「ヒバクシャ国際署名」への協力をお願いや紹介が掲載され、大村市、時津町では役所玄関ロビーには署名コーナーが設置されました。

### 自治体職員の方から署名が届けられる

それだけではなく、訪問が出来ていない自治体からも、非核自治体協議会の事務局である長崎市から署名への協力要請をしていただき、署名が送られてきています。五島市から492筆、南島原市447筆、新上五島町359筆、雲仙市420筆、時津町167筆、西海市314筆、壱岐市20筆、長与町959筆、長崎市1326筆等々です。

### 定例の26日宣伝行動にヒバクシャが先頭に立つ。

ランタンを前に、1月26日16時から1時間、街頭宣伝。「ヒバクシャ国際署名」をために作られた「一人から一人へ」などの歌声にのせて署名を訴え、354筆の署名が寄せられました。署名活動には33名の参加、被爆者の谷口代表、井原・被爆者手帳友の会会長、雲仙市から宮田さんも参加しました。

### 核兵器禁止条約の歴史的チャンス 3・1ビキニデーへ

2月27日から3月1日まで、静岡県焼津市を中心に「2017年3・1ビキニデー」が開催されます。1954年のビキニ事件を契機に誕生した原水爆禁止運動が、60年以上にわたって求め続けてきた、核兵器禁止条約の交渉会議が開催されるという歴史的な年の集いです。交渉会議の3月・6月、7月、8月の原水爆禁止世界大会へ向けて、「ヒバクシャ国際署名」の共同を広げ、核兵器禁止・廃絶の圧倒的な世論を築く運動のステップです。

多くの参加を呼びかけます。「お問合せは左記県原水協へ」



ビキニデー パンフレット  
頒価 210円 16ページB5版

核兵器のない平和で公正な世界を 原水爆禁止長崎県協議会

Gensuikyo news 2017/2/7

〒850-0035 長崎市元船町5-11-402 TEL 095-895-9106 FAX 095-895-9102